

第1期中期目標期間の業務実績に 関する評価結果

第1期（平成23年4月1日～平成27年3月31日）

平成27年11月16日

地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会

は じ め に

地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会は、地方独立行政法人法第30条の規定に基づき、地方独立行政法人川崎町立病院の第1期中期目標期間(平成23年度から平成26年度)における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

<評価実施要領(抜粋)>

○項目別評価(大項目)……中期目標期間における達成状況を5段階による評価を行う。

- S : 中期目標を大幅に上回り、特に評価すべき達成状況にある
- A : 中期目標どおり達成している
- B : 中期目標を概ね達成している
- C : 中期目標を十分に達成していない
- D : 中期目標を大幅に下回っているまたは重大な改善すべき事項がある

○全体評価……項目別評価(大項目評価)の結果を踏まえ、記述式による総合的な評価を行う。

地方独立行政法人川崎町立病院評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員長	堀 江 達 男	町 民 代 表
副委員長	松 岡 久 代	町 議 会 議 員
委 員	松 本 直 樹	町 民 代 表
委 員	村 田 節 子	福 岡 県 立 大 学 教 授
委 員	石 原 口 敬 一	町 民 代 表

目 次

- 1. 全体評価 P 1

- 2. 大項目評価 P 1
 - 第1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」

 - 第2 「業務運営の改善及び効率化に関する事項」

 - 第3 「財務内容の改善に関する事項」

 - 第4 「その他業務運営に関する重要事項」

1 全体評価

項 目	年度評価結果				第1期中期目標 期間の評価結果
	H23	H24	H25	H26	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B	C	B	B	B
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	C	C	C	C	C
第3 財務内容の改善に関する事項	A	A	B	B	B
第4 その他業務運営に関する重要事項	B	B	B	B	B

評価結果(全体)

第1期中期目標期間における業務実績に関する評価は、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の大項目については、B評価(中期目標を概ね達成している)、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目については、C評価(中期目標を十分に達成していない)、「財務内容の改善に関する事項」の大項目については、B評価(中期目標を概ね達成している)、「その他業務運営に関する重要事項」の大項目については、B評価(中期目標を概ね達成している)が妥当と判断した。

2 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

事業年度評価結果				第1期中期目標 期間の評価
H23	H24	H25	H26	
B	C	B	B	B

<主な取り組みや特色ある取り組み>

- ・ 相談体制強化の為、患者相談窓口を地域連携室に設置
- ・ 計画的な医療機器の購入
 - (H24) PACS・全自動散薬分包機・無散瞳眼底カメラ・ナースコールシステム
 - (H25) CTスキャン・医事コンピュータシステム・リハビリ機器一式・経鼻内視鏡システム
 - (H26) 大腸内視鏡システム、スチームオープン
- ・ 平成26年度より入院患者ADL向上のため、リハビリテーション室開設
- ・ 外来男女トイレ及び入院個室トイレの改修(暖房便座・ウォシュレット)
- ・ 駐車場内の区画線工事及び玄関前ロータリーの車両通行レーンの区分工事
- ・ 保健センターと連携し、当院の理学療法士が町内の施設で介護予防体操の指導を実施

<今後改善を期待する取り組み>

- ・ 毎年実施している患者満足度調査における項目によって、無回答率が高い項目があり工夫が必要
- ・ 待ち時間短縮にも限度があるので、今後は待ち時間を有効活用できる取り組みを検討することが必要
- ・ 医療安全対策において、インシデント・アクシデント結果を集計し、対策は行っているが対策後に改善されているか今後の課題
- ・ 大規模災害マニュアルを作成しているが、役場災害対策本部との連携が主となっている。地域の医療機関を含めた連携体制や院内組織の集約の詳細について、検討することが必要
- ・ 医療機器の更新・整備については、患者の苦痛を少なくし収益向上につながる機器を購入することも重要ではあるが、今後は保守点検や部品交換など総合的な試算の上で購入することが必要

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

事業年度評価結果				第1期中期目標 期間の評価
H23	H24	H25	H26	
C	C	C	C	C

<主な取り組みや特色ある取り組み>

- ・ 職員の職務能力の向上
 (H23～H26) 臨床検査技師が超音波検査技術取得を目的に週1回の研修
 (H24～H26) 看護師が看護管理者ファーストレベルを修了(毎年1名)
 (H25) 放射線技師1名がシニア診療放射線技師を取得
- ・ 平成25年度より業務委託契約を単年度から複数年契約(2年)で締結
- ・ 法人運営の基本方針及び重要施設に関する事項を審議するための経営企画会議を開催
- ・ 近隣の医療機関や施設を招いた認知症に関する研修会を開催

<今後改善を期待する取り組み>

- ・ 地域住民が安心して生活でき、医療ニーズに即した病院運営体制や地域内医療機関等との機能分担のあり方及び中長期的経営形態等を検討することが必要
- ・ 現行の医療収入のみにとらわれずに、将来予測される人口減や社会状況の動向を想定した職員雇用形態のあり方や病床数を減少させて看護度を上げるといった業務運営を検討することが必要
- ・ 人事評価制度について、多様な雇用形態があり完全導入には長期になると思われるが、段階的に実施するなど、導入に向けて検討することが必要
- ・ プロパー化を図る上で、病院経営分析能力を持つ事務職員を育成することが今後の課題

第3 財務内容の改善に関する事項

事業年度評価結果				第1期中期目標 期間の評価
H23	H24	H25	H26	
A	A	B	B	B

<今後改善を期待する取り組み>

- ・ 平成26年度決算で、独立行政法人後初の8,002千円の赤字となったが、第1期で208,395千円の黒字であり、町からの繰入金は645,068千円の計画に対し540,068千円の実績で105,000千円の減であった。今後も繰入金については、町と協議が必要。

第4 その他業務運営に関する事項

事業年度評価結果				第1期中期目標 期間の評価
H23	H24	H25	H26	
B	B	B	B	B

<主な取り組みや特色ある取り組み>

- ・ 平成25年度にデイルームをリハビリテーション室に改修し、平成26年度より開設